

親子聖書日課

NO.1644 2020.3/29-4/4 名前

[日]「主が私達の味方でなかったなら」罪の赦しも、死の勝利もなく、人生の重荷に押しつぶされていたでしょう。主が味方となって下さるから、どんな時も喜びと平安と希望が持てるのです。主を味方にするには、主に信頼し、主に従うことです。

[月]主に依り頼む人は、シオンの山エルサレムのように堅固不動です。主がその人々を取り囲んで守って下さるからです。「主に依り頼む」とは、主の言われることに、「はい」と従うことです。「いいえ」と主に逆らっているのは、幸せになれません。

[火]会堂建築の時、何度も読み、支えられた御言葉です。「主よ、私達のために大きな業を成し遂げて下さい」と祈るなら、「涙と共に種を蒔く」ことです。この種とは、今日頂く糧です。自分を犠牲にしなければ、主の大きな業を見ることはできません。

[水]朝から晩まで働き、多くのことを成し遂げても、「主御自身が建て」「主御自身が守って下さるのでなければ」人生は虚しく、祝されません。努力(Try)ではなく、信頼(Trust)です。まず主の御心を求め、それに従って働きましょう。必ず、祝されます。

[木]祝福された家庭ほど、幸せなことはありません。家族で主を畏れるなら、喧嘩でなく、賛美の溢れる楽しい家庭になるでしょう。「食卓を囲む子ら」とは、霊の糧である聖書を子供と一緒に味わうことです。「オリーブの若木」のように成長します。

[金]イスラエルの歴史は、苦難の歴史でした。しかし、「主は正しい方。主に逆らう者の束縛を断ち切って下さる」ので、救われました。ですから、苦しみに絶望しません。主に助け求めると、主は御言葉をもって慰め、逃れの道を備え、祝して下さいます。

[土]罪に苦しむ時、「もうだめだ」と諦める人はいませんか。しかし、どんなに惨めな状態であっても、主の「豊かな贖い」を待ち望むことができます。それは主の十字架の贖いがあったからです。罪は全て赦されていますから、主を恐れ敬いましょう。



	聖書	問題	答え
日	詩編 124:1-8	主が私達の何でなかったら、敵意の炎に呑み込まれていましたか。	
月	125:1-5	主にどうする人は、揺らぐことなく、とこしえに座りますか。	
火	126:1-6	何と共に種を蒔く人は喜びの歌と共に刈り入れますか。	
水	127:1-5	誰が建てて下さらなければ、家を建てる人の労苦は空しいですか。	
木	128:1-6	何を囲む子らは、オリーブの若木ですか。	
金	129:1-8	主は逆らう者の束縛をどうして下さいますか。	
土	130:1-8	豊かな何も主のもとにありますか。	
感想と祈りの課題			